

2018 年 5 月 23 日

『Quadrante クアドランテ』(第 21 号) 用
原稿募集・投稿依頼のお願い

海外事情研究所所員各位

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

早いもので、今年もまた『Quadrante クアドランテ』第 21 号を準備する時期になりました。所員のみなさまの日頃の研究成果を示す場として、たくさんのご投稿をお待ちしております。

一昨年度より『クアドランテ』のオープンアクセス化対応をすすめて参りました。論文タイトル・著者名・所属を二言語表記し、雑誌名・出版年・号数といった基本情報をヘッダーに記載し、和文・英文サマリーを掲載し、「クリエイティブ・コモンズ・ライセンス」マークを明記いたしました。また、昨年度からは原稿受理日の表記や、検索されやすくするためのキーワード設置も行いました。今年度から、原則として、紙媒体ではなく電子出版での発行となります。

指導されている院生にも積極的に投稿するよう働きかけていただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【種類と標準枚数】

1. 論文（原則として 400 字詰原稿用紙換算で 80 枚＝32,000 字以内）
2. 研究ノート、翻訳など（原則として同 50 枚＝20,000 字以内）
3. 学会展望、書評あるいは文献紹介など（原則として 30 枚＝12,000 字以内）
4. 院生による書評論文（原則として同 40 枚＝16,000 字以内）
5. 院生による新刊紹介（原則として 4 枚＝1,600 字以内）

編集作業は、以下のようなスケジュールで行います。3 ページ目の、編集規定、執筆要項をよくお読みください。

【投稿スケジュール】

1. 執筆申込締切 2018 年 6 月 29 日金曜日（厳守）
「執筆申込書」を 6 月 29 日までに海外事情研究所にご提出下さい。
紙媒体あるいはメールにても受け付けます。メール：ifa@tufs.ac.jp
2. 原稿提出締切 2018 年 9 月 28 日金曜日（厳守）

【院生用書評論文について】

院生が執筆する書評論文は、修士論文、博士論文執筆の際に必要な先行研究の批判的サーヴェイにあたるものです。論文の提出・査読・修正・再提出というサイクルをより円滑に進め、さらにより質を高めるために、指導教員にもご協力をお願いいたします。

指導教員もしくは推薦教員（ともに所員に限定）のみなさま

院生が書評論文・論文を出す前に、必ず目を通していただき、内容ならびに論文の書き方等を修正させてから 9 月 28 日（金曜日）に提出するようご指導ください。加えて、特に留学生の場合、日本語の修正を査読者が行うことになり、大きな負担となっておりますので、日本語修正も指導していただくようお願い申し上げます。

【注意】院生が書評論文・論文を書く場合には執筆内容を必ず指導教員もしくは推薦教員と相談し、執筆の許可もしくは推薦を受けてから申し込むようにしてください。執筆申込用紙には指導教員あるいは推薦教員名を記入してください。

9 月 28 日の原稿提出後、クアドランテ編集委員会による予備審査会を設けます。そこで査読にまで至らないと判断された投稿につきましては、返却いたします。予備審査会を通過した投稿に関しましては、本人および指導教官にいったんお戻しし、第二次締め切りの 10 月 31 日までに指導教官の指導と提出許可を得たうえで、再提出をお願いいたします。この再提出原稿が査読に回されます。詳しくは、以下の【院生書評論文執筆スケジュール】をご参照ください。

前期課程の院生を含めて、広く執筆者を推薦していただき、またよりよい論文を仕上げられるよう、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【論文等執筆スケジュール】

1. 完全原稿提出締切 9 月 28 日金曜日
2. 予備審査
3. 予備審査結果通知（10 月上～中旬）
4. 査読
5. 査読結果通知（11 月上～中旬）
6. 査読後修正校提出（12 月中）
7. 校正・修正
8. 最終稿提出（冬休み明け）

【院生書評論文等執筆スケジュール】

1. 完全原稿提出締切 9 月 28 日金曜日
2. 予備審査
3. 書き直し 指導教官の指導
4. 再提出最終締切 10 月 31 日（水曜日）
5. 査読
6. 査読結果通知（11 月下旬、文化祭明け）
7. 修正期間
8. 再再提出 冬休み前（12 月下旬）
9. 再査読
10. 再査読通知（冬休み明け）
11. 校正等
12. 最終稿提出（1 月末）

「執筆申込書」に必要事項を記入した申込書を 6 月 29 日までにご提出下さい。
何卒、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【編 集 規 定】

1. 『Quadrante クアドランテ』は、東京外国語大学海外事情研究所の研究活動の成果を発表するために、同研究所の責任において編集・発行される。本誌掲載の論考は東京外国語大学によって電子化・公開される。本誌に掲載される全ての著作物の著作権は著作者が有し、著作物はクリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際 ライセンス(CC-BY)下に提供される。
2. 『Quadrante クアドランテ』は、原則として各年度に1号を発刊する。
3. 海外事情研究所は、『Quadrante クアドランテ』の発行のために編集委員会を置く。編集委員会は所長、所長代理、編集幹事および若干の所員より構成される。
4. 編集委員会は、同研究所の所員ならびに研究所の研究活動に積極的に参画した者、および必要に応じて外部の者に寄稿を求めることができる。
5. 『Quadrante クアドランテ』に掲載される論文等については、編集委員会の責任において査読者を選定し査読審査をおこなう。
6. その他編集上の細則については、編集委員会が適宜これを定める。

【執 筆 要 項】

1. ワードを使用
2. 本文はMS 明朝全角 10.5pt.
英文・ローマ字等はすべて Times New Roman 10.5pt.
ダッシュ、矢印等の記号はすべて MS 明朝全角 10.5pt.
3. タイトルはMS 明朝全角/ Times New Roman 16pt. 太字
サブタイトルはMS 明朝全角/ Times New Roman 14pt. 太字
氏名はMS 明朝全角/ Times New Roman 12pt. 太字
4. 本文、注とも1段で作成
5. 註は脚注とする。脚注もMS 明朝全角/ Times New Roman 9pt.
6. 氏名、ふり仮名、ローマ字表記を本文の最後に記載すること
7. 英文タイトルも同じく本文最後に記載すること
8. 図表・グラフは最後にまとめて付すこと
9. 註の付け方

*日本社会学会による『社会学評論スタイルガイド』を参考にしてください。
WEB で入手可能です。(http://www.gakkai.ne.jp/jss/bulletin/guide.php)